

令和3年度予算・保険料率のお知らせ

令和3年度予算が、2月17日の第159回組合会において決議されましたので、その概要をお知らせいたします。一般勘定は保険料率(現行 6.0%)の据置き、介護勘定は(現行 1.5%→新規 1.8%)の引上げとなりました。

一般勘定

収入支出予算額	1,011,681 千円
(被保険者一人当たり)	682 千円)
経常収入	919,243 千円
経常支出	959,328 千円
経常収入支出差引額	▲ 40,085 千円
・準備金限度外繰入	0 千円
・別途積立金繰入	60,000 千円
・保険料率	6.0% (変更なし)

●事業主と被保険者の保険料率負担割合(変更無し)

旧年度	料率(%)	負担割合
事業主	4.50%	75%
被保険者	1.50%	25%
合計	6.00%	100%

新年度	料率(%)	負担割合
事業主	4.50%	75%
被保険者	1.50%	25%
合計	6.00%	100%

介護勘定

収入支出予算額	156,866 千円
(被保険者一人当たり)	236 千円)
・介護保険料率	1.8% (0.3% 引上げ)

●事業主と被保険者の負担料率負担割合(変更無し)

旧年度	料率(%)	負担割合
事業主	0.75%	50%
被保険者	0.75%	50%
合計	1.50%	100%

新年度	料率(%)	負担割合
事業主	0.90%	50%
被保険者	0.90%	50%
合計	1.80%	100%

* 令和3年度予算編成(一般勘定)に当たっては以下の4つの大きな要因がありました。

収入	①保険料収入は主に平均標準報酬月額増加(約26.7千円/人)と被保険者の4名増加により、昨年度予算比で約27.2百万円の増収となりました。
	②別途積立金からの繰入を60百万円計上しました。
支出	③納付金総額は443.5百万円で、前年予算比で約107百万円増となりました。
	④保険給付費(法定給付費+付加給付費)は、前年度予算並みの390.8百万円としました。

その結果、経常収入支出差引額は約40.1百万円の赤字となりました。これは前年度(令和2年度)予算(約50.9百万円の黒字)から91百万円の悪化です。尚、収入では別途積立金よりの繰入を60百万円とし、支出では予備費約24百万円を計上しています。

予算の収入・支出構成比率は以下のとおりです。支出では、保険給付費(42.2%)と納付金(36.6%)で、全体の78.8%を占める大きな費用項目となっています。尚、保険料収入に対する割合は、保険給付費 43.9%、納付金 38.0% 並びに保健事業費 7.3%となっています。

収入の部		
内容	予算額 (千円)	構成比(%)
保険料収入	914,484	90.4%
別途積立金繰入	60,000	5.9%
調整保険料収入	27,773	2.7%
財政調整事業交付金	4,000	0.4%
国庫補助金収入	504	0.0%
雑収入・その他	4,920	0.5%
収入合計	1,011,681	100.0%
経常収入合計	919,243	90.9%
経常収入支出差引額	▲ 40,085	

支出の部		
内容	予算額 (千円)	構成比(%)
保険給付費	390,821	38.6%
①前期高齢者納付金	90,583	9.0%
②後期高齢者支援金	352,941	34.9%
③退職者給付拠出金他	12	0.0%
納付金計	443,536	43.8%
保健事業費	64,422	6.4%
事務費	55,655	5.5%
予備費	23,970	2.4%
財政調整事業拠出金	27,773	2.7%
その他(連合会費・還付金・営繕費・その他)	5,504	0.5%
支出合計	1,011,681	100.0%
経常支出合計	959,328	94.8%

保健事業については、平成25年度において、事業内容の適正化を図り、不要不急の事業（機関紙「笑顔」、家庭常備薬無償配布、保養所補助、人間ドックの無制限の健保補助等）を廃止しました。一方で加入者の健康維持及び疾病予防の強化のため、①特定保健指導の対象者の拡大（35歳～39歳を追加）②婦人科ドックの受診者数拡大、③けんぽ共同健診のABC検診（胃がんリスク検査）の導入、④データヘルス計画の推進など保健事業の強化を図りました。

データヘルス計画関連事業費として5,250千円を計上し、令和3年度の保健事業費は、前年度予算(65,076千円)比で約0.7百万円の減少の**64,422千円**となっています。また、保険料収入に占める割合は7.0%と昨年度予算7.33%比で0.33%の減少となっています。財政事情の大変厳しい環境下、何卒宜しくご理解の上、組合運営にご協力をお願い申し上げます。

保健事業の内訳

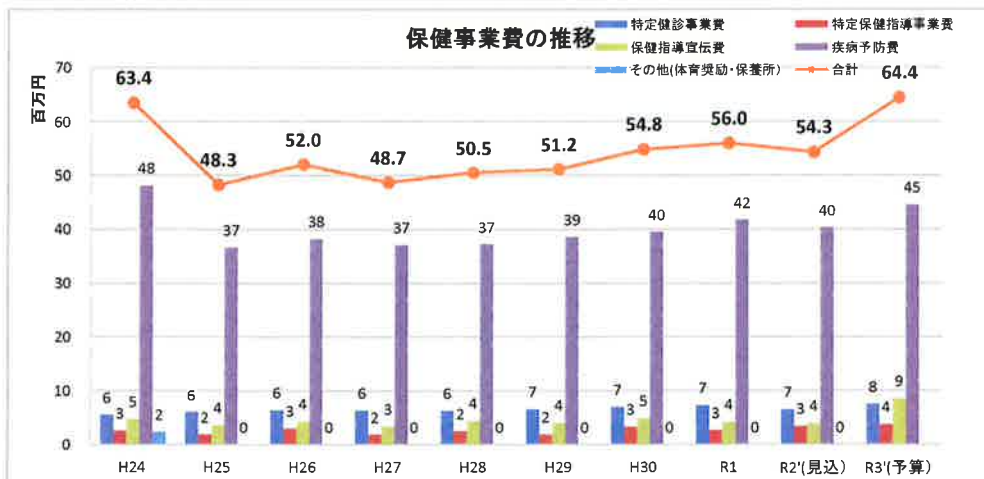
		特記事項	金額(千円)	保健事業費内の割合(%)
特定健康診査事業費	小計	継続	7,519	11.67%
特定保健指導事業費	小計	対象者の拡大継続	3,744	5.81%
保健指導宣伝費	広告媒体(健保HP)	継続	940	1.46%
	医療費通知	継続	1,377	2.14%
	各種小冊子等	継続	899	1.40%
	健康相談(一般+こころ)	継続	1,007	1.56%
	啓蒙ツール開発・作成	新規(データヘルス計画関連事業)	2,000	3.10%
	データヘルス計画(策定・評価・見直し)	継続(データヘルス計画関連事業)	1,500	2.33%
	KenCom	継続(データヘルス計画関連事業)	860	1.33%
	小計		8,583	13.32%
疾病予防費	人間ドック	継続	28,244	43.84%
	婦人科ドック	受診率目標50%を設定	880	1.37%
	けんぽ共同健診(主婦健診)	ABC検査継続	12,422	19.28%
	胃検診	継続	720	1.12%
	歯科検診	継続	1,040	1.61%
	インフルエンザ予防接種補助	継続(データヘルス計画関連事業)	320	0.50%
	禁煙サポート・禁煙外来補助	継続(データヘルス計画関連事業)	350	0.54%
	生活習慣病の重症化予防対策	継続(データヘルス計画関連事業)	300	0.47%
	その他		300	0.47%
		小計		44,576
合計			64,422	100.00%

○ **第2期 データヘルス計画** (期間:平成30年度～令和5年度の6年間)

- ☆第1期データヘルス計画を踏まえた現状と課題
- ☆第2期において課題に対して実施する事業
- ☆目標(アウトプット・アウトカム)の設定
- ☆事業実施に係る令和3年度予算費用(規模): **5,250千円**

○ **第3期特定健診等実施計画** (期間:平成30年度～令和5年度の6年間)

- ☆実施計画目標値: 特定健診実施率 **90%以上**、特定保健指導実施率 **55%以上**



令和3年度予算の一般勘定・介護勘定の概要は次のとおりです。

一般勘定

予算基礎数値 被保険者数 1,483 人 被扶養者数 1,762 人
 被保険者平均年齢 42.82歳
 平均標準報酬月額 892,412円

収入	科目	予算額(千円)	被保険者 一人当たり(円)
	保険料収入	914,484	616,645
国庫負担金収入	203	137	
調整保険料収入	27,773	18,728	
別途積立金繰入	60,000	40,459	
国庫補助金収入	504	340	
財政調整事業交付金	4,000	2,697	
雑収入・その他	4,717	3,181	
収入合計	1,011,681	682,185	
経常収入合計	919,243	619,854	

支出	科目	予算額(千円)	被保険者 一人当たり(円)
	事務費	55,655	37,529
法定給付費①	364,068	245,494	
付加給付費②	26,753	18,040	
保険給付費①+②	390,821	263,534	
前期高齢者納付金③	90,583	61,081	
後期高齢者支援金④	352,941	237,991	
退職者給付拠出金⑤	11	7	
老人保健拠出金/病床転換支援金⑥	1	1	
納付金・拠出金計③~⑥	443,536	299,080	
保健事業費	64,422	43,440	
宮籍費・還付金・連合会費・積立金	1,404	947	
財政調整事業拠出金	27,773	18,728	
その他	4,100	2,765	
予備費	23,970	16,163	
支出合計	1,011,681	682,185	
経常支出合計	959,328	646,883	
収入収支差引額	0	0	
経常収入収支差引額	▲ 40,085	▲ 27,030	

介護勘定

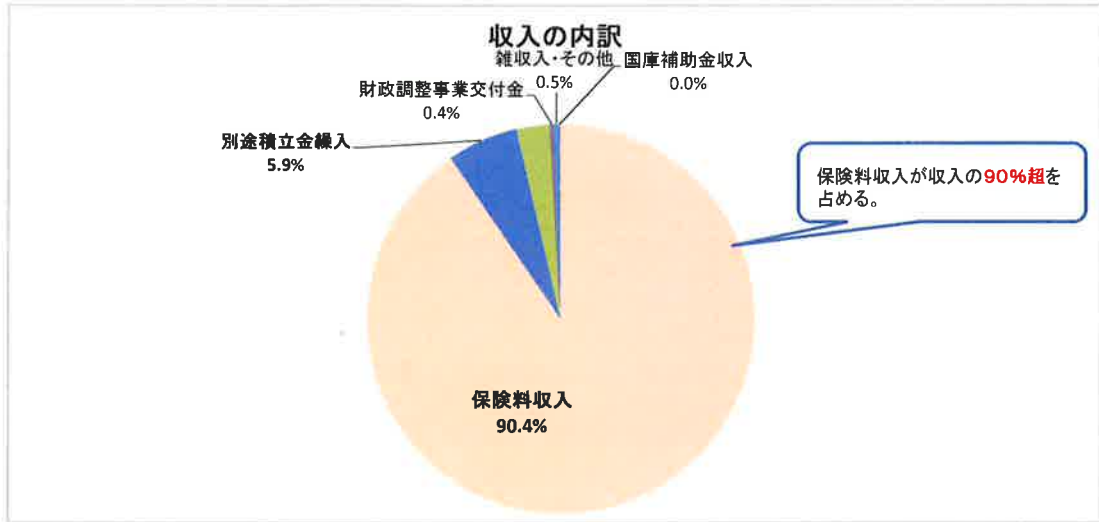
予算基礎数値 介護保険第2号被保険者数 1,045 人
 介護保険第2号被保険者数たる被保険者数 666 人
 平均標準報酬月額 1,046,000 円

収入	科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者たる 被保険者一人当たり(円)
	介護保険料	150,473	225,935
繰越金	6,392	9,598	
繰入金	0	0	
雑収入他	1	2	
合計	156,866	235,535	

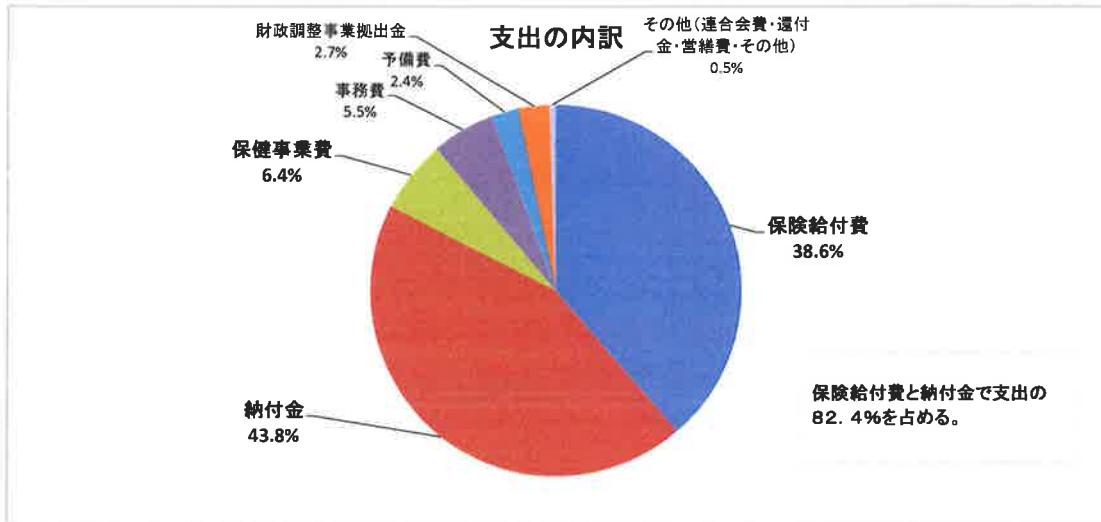
支出	科目	予算額(千円)	一人当たり(円)
	介護納付金	155,921	234,116
還付金	500	751	
予備費	445	668	
合計	156,866	235,535	
収入支出差引額	0	0	

介護納付金が総報酬割の導入(前年度より4/4全面総報酬割)と激変緩和措置(納付金の減額)の撤廃により、前年度比で**24.7百万円増加の155.9百万円**となりました。一方収入は、前年度からの繰越金6.4百万円を加えても、現行料率(15.00/1000)による保険料収入では支出を賄いきれず、**保険料率の引上げ(1.5% → 1.8%)**により、介護保険料の増収を図りました。

グラフ ① 令和3年度予算<収入構成比>



グラフ ② 令和3年度予算<支出構成比>



グラフ ③ 令和3年度予算<保健事業費の構成比>

